令和8年度版「学力向上ポートフォリオ（学校版）」【川通小学校】

①	今年度の目標と学力向上策
重点的に育成する資質・能力	(1)学習課題や学び方について自ら考え、主体的な学び合いができる資質・能力 (2)根拠を明確にしながら、自分の考えを伝えることができる資質・能力
⇓	
実施する学力向上策【時期・頻度】	(1)課題や問題を解決するために必要な学習方法を自分や友達と考え、単元の学習に見通しをもつ時間を設ける。(単元の導入) (2)何を理解したか、どのようなことをしたら考えを深めることができたかなど、自分の学び方やについて振り返り、表現する時間を設ける。(毎授業後、若しくは単元の終末)

⑤	年度末評価	
学力向上策の実施状況	評価(※)	
⇓		
今年度の成果と次年度の課題		

※評価　A 8割以上(達成)　B 6割以上(おおむね達成)　C 6割未満(あと一歩)

②	全国学力・学習状況調査結果の分析
特徴的な結果	国語の、「読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができる」問題では正答率が高かったが、「自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる」問題では課題が見られた。算数でも「異分母の分数の大小を判断し、その理由を数や言葉を用いて記述する」問題に課題が見られた。 学習課題や学び方について自ら考え、主体的な学び合いができる資質・能力に関連する児童質問「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか」について肯定的な回答を高い割合でしていた。
⇓	
結果から考えられる児童生徒の実態	・理解したことや考えたことを相手に伝わるように、根拠を明確にしたり表現を工夫したりすることに課題が見られている。 ・授業において主体的に学習を進められていると感じているが、新たな課題に気づいたり見直したりして、次の学習につなげていくことを大切にしたい。

④	さいたま市学習状況調査結果の分析
特徴的な結果	
⇓	
結果から考えられる児童生徒の実態	

③	中間評価	
学力向上策の実施状況	評価(※) B	学力向上策(1)(2)ともに効果的な実施に向けて授業改善を行っている。 ・考えを表現をする目的を明確にすることで、伝えたい内容や根拠を明らかにすることができるように指導していく。 ・探究的な学習を各教科でより積極的に行い、自分や友達と学習を調整しながら考えや理解したことを表現できるようにしていく。
⇓		
学力向上策の見直し	変更なし	

※評価　A 8割以上(達成)　B 6割以上(おおむね達成)　C 6割未満(あと一歩)